



ネットテクノロジー

セキュリティ関連販売へ

ロシア製ソフトなど

海外の個性的なソフトウェアを専用ウェブサイトを通じ販売しているネクステックノロジー（本社つくば市、坂本堪亮社長）は、新たにセキュリティ関連のソフトウェアのラインアップを加え、販売を開始した。ファイルやフォルダーを見えなくすることができるロシアの製品などがある。

新たに販売を開始した「ニバーサルシールド／ロックフォルダー」、B&Mコンサルタツワーニツエ社（ロシア）の「ユド社（エストニア）の「ティーケーエス・セーフ」など。

専用ウェブサイトで新たにセキュリティ関連の海外のソフトウェア製品の販売を始めたネクステックテクノロジー。右は坂本堪亮社長。つくば市千現の同社本社

中에서도、同社が「ユニーク」（坂本社長）と推奨するのが「ユニバーサルシールド／ロックフォルダー」。機密情報漏えい防止のため、ファイル

やフォルダーを見えなくすることができる。特定のアプリケーションからだけアクセス許可する機能も備えており、「コピーや閲覧などの不正アクセスから守ることができない」という。

「ティーケーエス・セーフ」はパスワード管理を助け、「メールマネージャ」は不要なメール削除にかかる時間を減らすことができる。ほかに相手と同じソフトウェアを持っていないくても、暗号化してメール添付・解読できるドイツ製の製品などもある。

同社は今後、新たなソフトウェア製品を二週間一度のペースで販売していく。その際、カテゴリごとに「グループ化して紹介する」（坂本社長）方針。ネットワーク管理者向けに、カタログ化する機能があるソフトウェアなどの販売を予定している。

同社は二〇〇四年三月に設立。八月に海外のソフトウェアを販売する専用サイト「シェアエック」（www.shareeck.com.co.jp）を立ち上げた。